

◆今期間のポイント

＜主要しょう乱の概要＞

- 5日は、低気圧が発達しながらオホーツク海へ進み、前線が本州付近を通過して三陸沖から沖縄・奄美付近にのびる。
- 6日は、沿海州付近に低気圧が進み、前線が日本の東から日本の南にのびる。
- 7日は、低気圧が発達しながら日本海北部に進み、前線が日本の東から沖縄・奄美付近にのびる。
- 8日は、発達した低気圧がオホーツク海に進み、高気圧が黄海から東日本付近に移動する。
- 9日は、高気圧が日本の東に移動し、前線が華中から東シナ海にのびる。

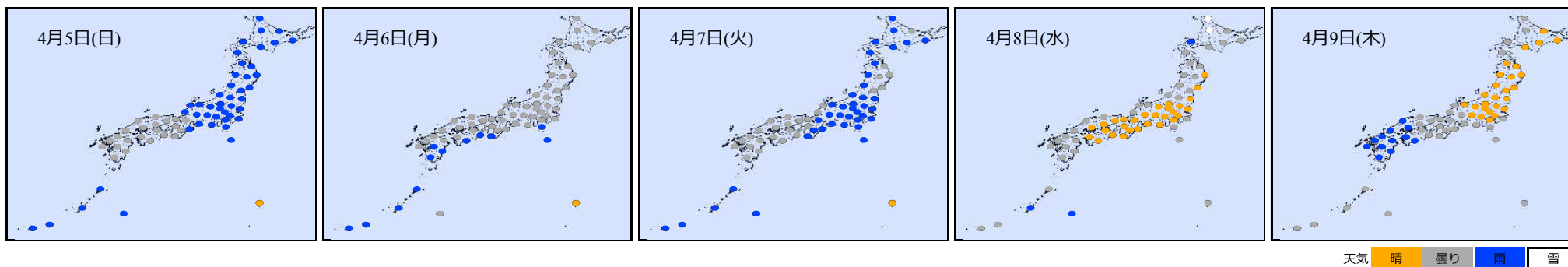
＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 5日頃にかけて北日本では、オホーツク海へ進む低気圧の影響で荒れた天気となり、低気圧の発達程度等によっては、大荒れとなるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

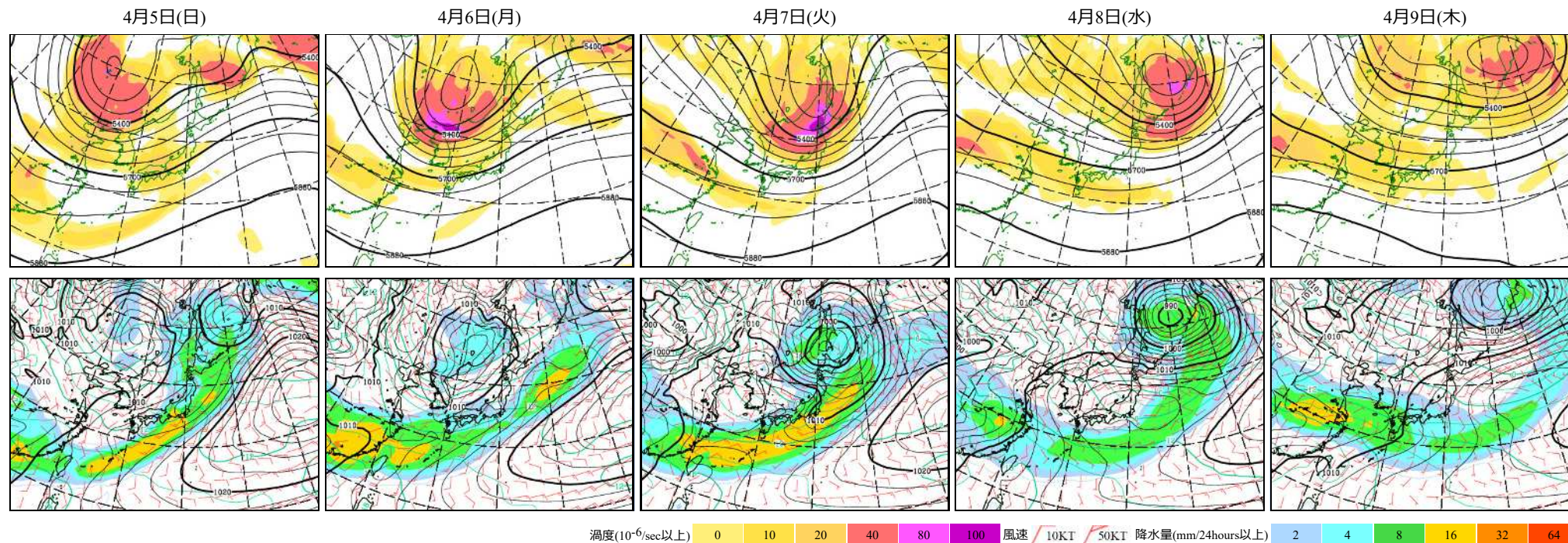
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

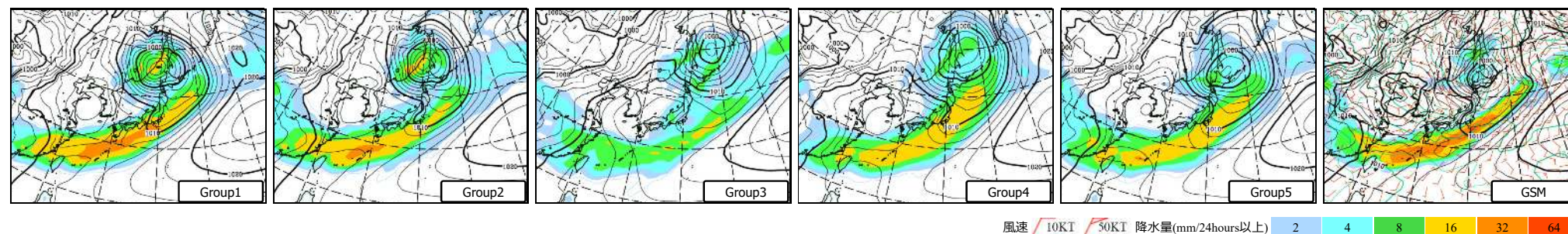


- 北日本は、曇りや雨または雪の降る日が多いが、8日から9日は晴れる所がある。
- 東日本は、5日から7日は曇りや雨の降る所が多いが、8日から9日は晴れる所が多い。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多いが、8日は晴れる所が多い。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆4月7日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、5日はオホーツク海へ進む低気圧が強まった。7日から8日にかけて日本海北部からオホーツク海へ進む低気圧が発達する傾向となった。このため、7日は北日本で降水確率ガイダンスの値が大きくなった所がある。
- モデル間の差は比較的小さいが、日本付近を進む低気圧の勢力や位置にはばらつきが見られる。
- スプレッドは期間の終わりは大きく、特定高度線のばらつきも大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。